

<仮訳>

日 EU ビジネス・ダイアログ・ラウンドテーブル
6月3～4日、ベルリン
提言書

Working Party 2
会計および税制問題

会計問題

2 - EJ - 1

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は IASB、FASB 及び ASBJ の間で継続的に広範な対話が持たれることを要望する。
また、我々は、金融・資本市場の国際的競争力の為、証券監督機関のような監督機関が協
力することを要求する。

2 - E - 1

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

CO2 排出に関連する環境の脅威に直面し、我々は、排出権取引に係る会計基準の開発が確
実に行われることを要求する。

2 - E - 2

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は、企業結合の会計処理、特に暖簾に関して、ファイナンシャルバイヤーやストラテ
ジックバイヤーと言った、バイヤーのタイプに従って開発されることが確実となるよう要望
する。

2 - E - 3

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

純利益の廃止に係る提案において幅広いコンサルテーションが十分に行われることを要求
する。

税制問題

2 - EJ - 2

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は、EU 単一市場の便益を十分に享受する為、EU 各国が日本と共通の租税条約の合
意をすることを要望する。

2 - J - 1

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は昨年、日本政府に現行、子会社の繰越欠損金の持込みについて制限があるが、この子会社繰越欠損金の持込の容認、連結納税の開始或いは加入に伴う資産の時価評価の免除、連結グループ内(連結完全支配関係がある連結法人に対する)寄附金の損金算入などの早急な連結納税制度の改善を行うことを要望した。

2 - EJ - 3

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は、企業が国際的な展開を滑らかに実行する為に、日本の税務当局が税執行の透明性を確保するよう要望する。

また、国際的な共通理解の視点から、我々は日本の税務当局が OECD モデルのような国際的共通モデルに回帰することを要望する。

2 - J - 2

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々はコンバージェンスの進展に伴い、企業会計と税務との間に新たな乖離が生じることになることから、日本の税務当局がこれらに柔軟に対応することを要望する。

2 - J - 3

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は、日本の税務当局が、タックスヘイブンのルールを見直すことを要望する。

我々は、日本と条約を結んだ国に所在する企業がタックスヘイブンの規制から免除されるような、タックスヘイブンの基準レートの見直し、ないし免除の取扱いの拡大を提案する。

2 - J - 4

KEY POINTS OF RECOMMENDATION

我々は日本の税務当局に法人税率引下げを検討することを要求する。